

て攻め寄せたからつて、ビクともするものぢやない。

それではこれだけのことは一體誰が成し遂げると云ふたらう。金持徒黨の政友會や憲政會でないことは明白だ。無論國民黨でもなければその他大同小異の末派徒黨、投票乞食、門附け代議士のガラクタ共でもない。普選ブローカー、労働ゴロの通辨學者や、青瓢單の書生共でないことも明白だ。イヤ此奴共こそ俺等を喰ひ、國家の骨までシヤブリ兼ねない賣國奴だ。誰がする。俺達より外にない。俺等こそ大日本帝國の土臺石だ。御互の手を握り合うんだ。小ッボゲな理屈などコネてる時でない、理屈は後廻した。紳士なんて野郎共の握

手とは違ふぞ、グツと銅入りの腕と腕を組むんだ。腕をひきさり出しても死ねば諸共と握るんだ。こんな團體にマルクスが要るか、佐倉宗五が出て來らア、クロボトキン尻を喰へ、艦隨院の長兵衛も出れば國定忠治も出てくる。労働組合の基金も歴史もない日本の労働者にギルトリシヤリズム、なんて拔しやがる青瓢單から先に一つ御見舞申すんだ。江戸ッ兒の元祖は助六だ、義のため國のためならどんな我慢もするのさ、事と品とに依れば一つきりない命でもくれてやらアといふ所に、眞に日本男兒の有難さ尊さがあるんだ。口先ばかりの毛唐共のザマを見る。疾うから社會主義だなんてさわいで